



並木中等進路だより

NO.4

DEC 7, 2015

後期生

茨城県立並木中等教育学校進路指導部

2016年度入試動向とセンター後の2次出願ポイント

大学入試センターより10月に発表された2016年度センター試験出願状況(最終志願者数は12月上旬に発表)では、昨年よりも約2万人多くなっています。また、2015年度の数学・理科に続き、英語・国語・地歴・公民も新課程に移行し、**全面的に新課程に対応した入試**となります。個別試験においても、新課程固有分野からの出題も予想されますので、今までの傾向とはちょっと違う問題が出されることも覚悟する必要があります。

また、今まで文低理高と言われてきていましたが、今年は売り手市場による文系出身者の就職状況の改善などもあり、**文系も人気を回復**しつつあります。とは言え、一部の大学で人文科学部関連の学部学科を廃止するという傾向もあるので、今まであった学部学科が無くなるという現象もこれから多くなるかもしれません。

2016年度入試では、東大や京大が新たにAO(アドミッション・オフィス)入試を導入したことで、話題となっていますが、「多様な人材を受け入れたい」という大学は増えているようで、国立大学の全86校が加盟する「国立大学協会」では、AO・推薦入試などの合格者を2018年度までに、現在の2倍にあたる入学定員の30%に引き上げる改革プランを、今年9月にまとめています。

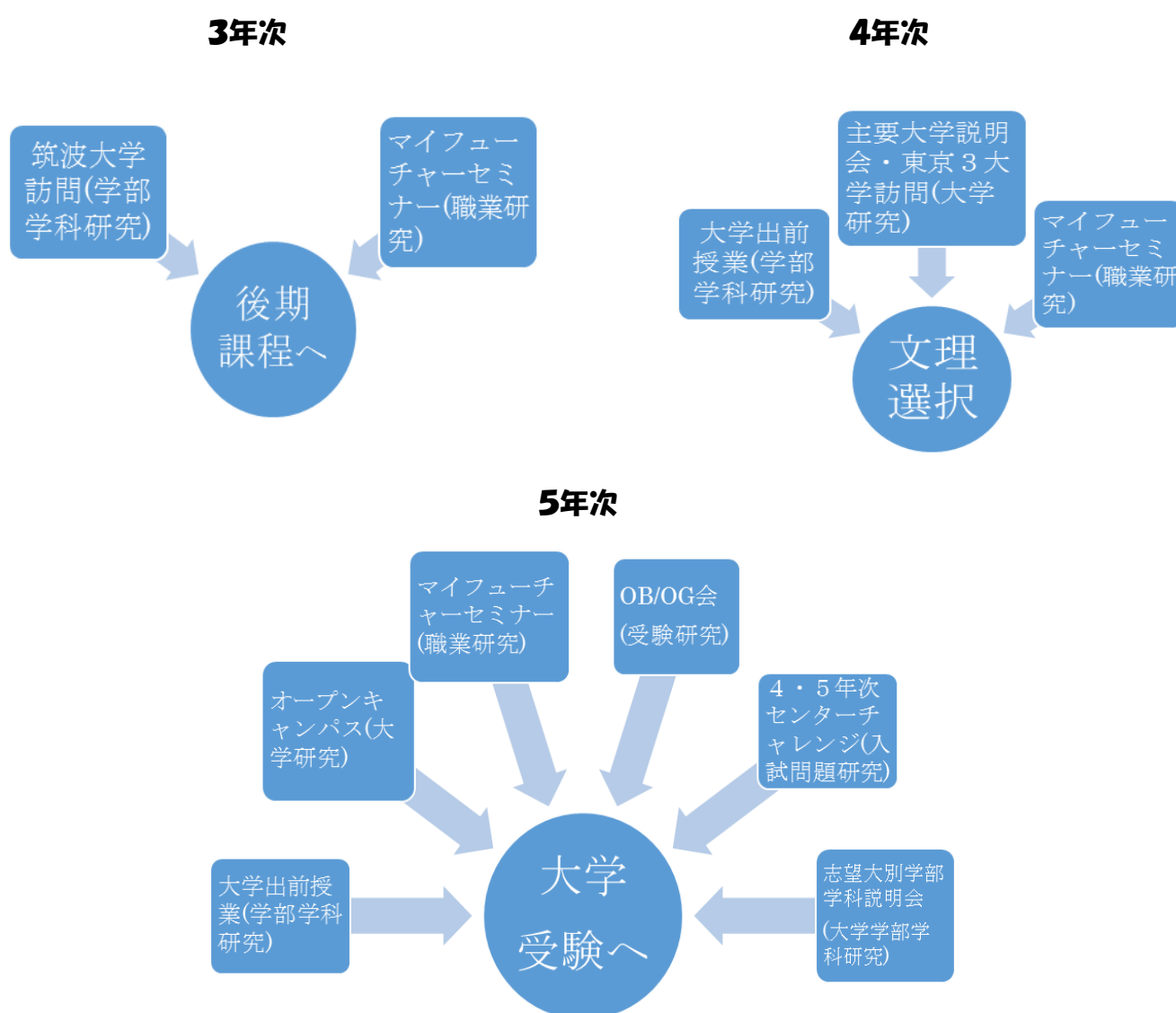
いろんなことにチャレンジできる環境にある並木中等生にとっては、また一つチャンスが広がるような気がします。

さて、あと1ヵ月余り(1月16・17日)で6年生はセンター試験を迎えるわけですが、その後、自己採点(1月18日)、担任との面談、前後期出願校決定と10日余りのうちに目まぐるしい日々を過ごすこととなります。国公立大入試はセンター試験だけで決まるわけではありません。自分の2次得点力やこれからの伸びしろ、センター試験全体の難易度などを客観的に考えて判断する必要があります。過去にあったように、一部の科目で平均点が大幅にダウンしたために例年のデータの数値とは判断材料がやや違ってくる例も出てきます。センターの後こそ**しっかりと担任の先生に相談**して下さい。

何のための進路行事なのか？

本校では、高校入試がない利点を活かし、**3年次から進路指導の前倒し**を行っています。9月から11月にかけても、PTA年次委員さんたちのご協力による「マイフューチャーセミナー」を始めとして、様々な進路関係行事が行われてきました。4・5年次では、10月に進路説明会が開かれ、4年次生は来年の文理選択、5年次生は科目選択についてそれぞれ説明がありましたが、今回の保護者面談でほぼ最終決定となります。皆さん分っているように、「**文理選択や科目選択**」=

「進路選択」でもあります。今までの「進路講演会」や「大学出前授業」、「オープンキャンパス参加」(5年)、「主要大学説明会」(4年)、「マイフューチャーセミナー」、「東大・東工大・一橋大訪問」(4年)などを通して、その都度真剣に考えてきた人は、ある程度、将来の目標が定まってくると思います。とは言え、今あらためて自分の進路について悩み始めた人もたくさんいることでしょう。**進路選択は、自分の可能性を広げるための選択**でもあります。みんなの可能性は無限大です。くれぐれも、将来の可能性を狭めるような選択とならないように気をつけてください。「自分は数学できないから理系に行こう」といったネガティブな理由からではなく、もっとポジティブに自分の進路を考えていってください。**自分の可能性を広げられるのは自分自身**です。そのためにも自分で努力し、自分で調べ、ご両親や先生たちのアドバイスを参考にしてください。



進路委員コーナー

今回は6年生の甲斐田楓さんが、芸術関係の進路について特集してくれました。芸術分野に将来進みたいという人はぜひ参考にしてください。

芸術進路特集 ～美術編～

今回の進路便りでは芸術進路の生徒さんの参考に少しでもなるように、また、芸術に興味を持ってくれる生徒さんが増えるように、そして芸術の進路について皆さんの理解を得られるように、特集を組んでみました。

1. どんな学科・専攻があるのか
 - ・絵画…洋画(油絵等)、日本画
 - ・デザイン…建築、環境、生産、情報のデザイン
 - ・構成
 - ・映像、グラフィック
 - ・彫像、工芸
 - ・演劇、舞踏
 - ・芸術学…美術史、芸術支援



2. 美術大学

- ・(国)東京芸術大学…国内最高の芸術大学。美術学部と音楽学部がある。合格者のうち現役生がわずか1～2割という非常に狭き門。
- ・(国)筑波大学芸術専攻学群…おなじみの筑波大学の通称「芸専」。学科も実技も手が抜けないのでバランスをとるのが難しい…。
- ・(私)武蔵野美術大学…東京芸術大学に次ぐ美術大学。基礎を重視する傾向有り。
- ・(私)多摩美術大学…武蔵美と並んで東京芸術大学に次ぐ美術大学だが、武蔵美より才能を発揮するところから。
- ・(私)女子美術大学…のびのびとしているが、施設は充実。

3. 美大受験

美大は、基本的には1次試験に学科試験、2次試験に実技試験を課します。国公立大は学科の水準も高い大学も多いです。

実技試験は、学科によって、写生、立体造形、彫刻、デザイン、空間構成、などの作品を当日数時間かけて完成させて提出します。デッサンはほとんどの学科で必要となります。推薦入試等の場合は事前に指定された制作課題を提出したり、作品集を作ったりすることもあります。芸術学の学科などを受験する場合、実技試験ではなく小論文等を選択できる大学も多いです。

目指す大学によりますが、受験の1～3年前から美術予備校(画塾)に通い、デッサンや色彩の基礎を身につける必要があります。先生方のご指導をしっかりと聞き、自分の絵を柔軟に変えてより高得点を狙える技術を伸ばしていきます。

センター試験が終わると、2次試験までの1か月間、朝から晩までとにかく絵を描き続けます。ここが大変ですが、これを乗り越えて無事合格すれば、好きなことに打ち込める大学生活が待っています！

ご参考になれば幸いです！